

親子でおもしろクリスマスキャンドルづくり

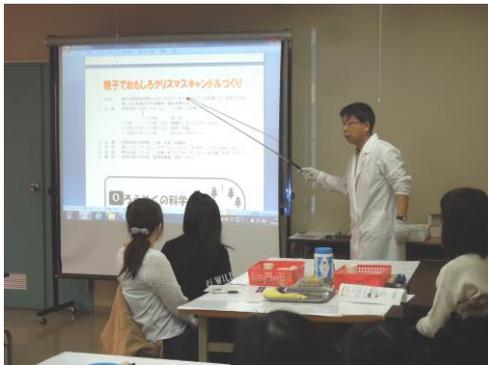
12月14日(土)に、第24回いわみざわチャレンジスクール「親子でおもしろクリスマスキャンドルづくり」を実施しました。今回は、1年生から6年生までの児童が親子で参加しました。ろうそくの燃焼の仕組みをプロジェクターを使いながら説明しました。

クリスマスキャンドルづくりは、溶かしたろう(キャンドル用のパラフィン)を使いました。湯煎で溶かしたろうは、どれも高温になっているため保護者が軍手をはいて持ち運びました。

まず、ハートや星などの形をしたろうチップと氷を使ったキャンドルづくりをしました。紙コップの中に芯となるろうそくを固定し、そのまわりにろうチップと砕いた氷を入れ、上から「溶かしたパラフィン」を流し込みました。完成したキャンドルは、氷のところが溶けて幾何学様に穴があき、中からきれいな色のろうチップが顔を出す、不思議な形のかわいいキャンドルになりました。

次に、少し小さめの紙コップに、芯を固定し、好みのアロマを数滴たらして、におい付きの三層キャンドルを作りました。

きっと今年のクリスマスは、いつもの年より楽しく、親子で作られたろうそくで華やかになるのではないのでしょうか。



説明を真剣に聞いています。



「この色と、この色を使って・・・」子どもたちの発想が広がる色選び。



外の雪を活用して冷やしました。



出来上がったキャンドルを持ってにっこり。



今回のいわチャレは …

参加者:18人(小学生9名・保護者9名)

指導者:岩見沢郷土科学館管理指導員 富岡 哲也

みなさんありがとうございました